

第36回天文学に関する技術シンポジウム開催にあたって

本日は第36回天文学に関する技術シンポジウムにご参加いただき大変ありがとうございました。この技術シンポジウムは大変長い歴史がありますが、ちょうど私が大学院生になり、装置開発に関わる研究を始めたころに、まだ始まったばかりの技術シンポに参加する機会がありました。その時には、技術者だけでなく多くの研究者が参加していたという記憶があります。そこで、その後さまざまな機会で、装置開発に関わることとなった技術者の方々と知り合いになることができました。

その後、研究者の参加が少ない技術シンポになっていたという話も聞きましたが、前回、可視赤外観測装置ワークショップとの合同開催をしたこともあってか、今回は再び多くの研究者が参加する技術シンポになりました。天文学における技術を進めるには、科学的目標を担う研究者と、技術を担う技術者が車輪の両輪となることが重要であり、これからも技術者、研究者が活発に議論を戦わすことのできる技術シンポとなっていくことを切に願います。

国立天文台 技術主幹・技術推進室長 高見英樹